



平成 21 年 4 月 22 日

各 位

会社名 東邦金属株式会社
 代表者名 代表取締役社長 中村 裕
 (コード番号：5781)
 問合せ先 取締役総務部長 小野 晃久
 (TEL. 06-6202-3376)

平成 21 年 3 月期業績予想の修正及び特別損失の発生並びに
 繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

当社は、平成 21 年 1 月 29 日に公表しました平成 21 年 3 月期業績予想値を修正するとともに、平成 21 年 3 月期に追加計上を行う特別損失及び繰延税金資産の取崩しについての概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円、%)

1. 平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,100	△670	△700	△1,300	△55.83
今回発表予想 (B)	6,026	△963	△961	△3,124	△134.18
増減額 (B - A)	△73	△293	△261	△1,824	△78.35
増減率 (%)	△1.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	8,131	465	410	238	10.26

修正の理由

売上高は、概ね前回発表予想どおりとなる見通しではありますが、たな卸資産評価損を売上原価に計上したことにより、営業利益、経常利益は前回発表予想値から大幅に減少する見通しとなりました。

原材料市場価格の低下は継続すると予想され、その製品販売価格への影響と販売数量の急回復が当面見込めない状況にあることを勘案し、財務健全性の確保のために保有するたな卸資産の評価見直しを実施したものであります。

さらに、後記 2 及び 3 に記載のとおり事業構造改善費用、固定資産に係る減損損失を特別損失に計上し、繰延税金資産の全額取崩しによる法人税等調整額の計上により、当期純利益を上記のとおり修正いたします。

2. 特別損失について

①事業構造改善費用

当社は収益構造の抜本的な改善を目的に、人員の適正化、北海道深川工場の閉鎖及び門司工場、寝屋川工場への生産体制の集約等の事業再編に着手しておりますが、その実施にあたり来期以降に発生が見込まれる費用及び損失約 794 百万円を事業構造改善費用として特別損失に計上いたします。

なお、希望退職者に係る特別退職一時金等 202 百万円は、事業構造改善費用に含まれております。

事業構造改善に係る必要資金につきましては、主力銀行へ融資要請をしており、2 行からは融資が実行され、その他の銀行からも融資実施の内諾を得ております。

②減損損失

現在の事業環境及び今後の見通しを勘案した結果、将来キャッシュ・フローからの回収が見込めない固定資産について減損処理を行い、約 695 百万円を特別損失に計上いたします。

3. 繰延税金資産の取崩しについて

当第 3 四半期において繰延税金資産の一部取崩しを行いました。将来の課税所得の再検討を行った結果、繰延税金資産の全額取崩しを行い、法人税等調整額に 60 百万円を追加計上いたします。

以 上